

ほんの  
いばし  
10

今回は

## 3の後:社会科学(後半)

さん うしろ

図書館の本は0から9の数字  
を使って分類されているよ。詳  
しくは「シカクニト!」第1回  
(ごちゃっと4号)を見てね。

社会科学のなかま:社会科学(300)、  
政治(310)、法律(320)、経済(330)、  
財政(340) 今回はここから↓  
統計(350)、社会(360)、教育(370)、  
風俗習慣・民俗学・民族学(380)、国  
防・軍事(390)

社会科学...それは、今すぐ使える本の宝庫。こんな限られたスペースでは語りつくせるはずがない。  
だが、伝えてみよう。この紙面が尽きるまで。

### ★統計★

『日本国勢図会 2010/11』(351) 矢野恒太記念会/編集 矢野恒太記念会など。基  
本的なデータを調べるのに便利。

### ★社会★

一口に「社会」としてもいろいろ。『自分をさがそ。』(3679) 杉山貴士/著 新日本出版  
社(性問題)や、『ぼくは13歳職業、兵士。』(3694) 鬼丸昌也/著 合同出版(児童  
福祉)など、社会問題は幅広い。なんといっても押さえておきたいのは、『知っておきたい!働  
く時のルールと権利』(3661) 篠智優子/著 ペリカン社などのお仕事関係。将来に悩  
んでいる人は必見のジャンル。

### ★教育★

幼児(幼児教育)から大人(生涯教育)まで、教育と名のつくものならなんでもござれ。『高校  
生のキャリア・デザインと新しい大学・短大選び』(3768) 岩田雅明/著 ぎょう  
せいなど、進路を決める参考になる本や『慶大生が書いたAO入試合格マニュアル』  
(3768) 井原真吾/著 ダイヤモンド社なんて受験にすぐ効く1冊もある。

### ★風俗習慣・民俗学・民族学★

『行儀作法の教科書』(3859) 横山駿也/著 岩波書店など、ある日突然必要になるマ  
ナーの本がこのあたり。妖怪の本がひそかに棲息していたりもする。

国防・軍事(390)が入らなかった...。それだけ社会科学には魅力的な本が多いということだ。ゼ  
ヒ棚の前に立って、より自分に合う本を探してみよう。次回は「4:自然科学」を紹介するよ!

### ★★★ ヘンシュウコウキ ★★★

● 図工の絵本作りで、創作の才能はないと早々に気づいた私の作家さんの話は驚くことだらけでした!  
(弓) ● 『ごちゃっと』を卒業することになりました。さびしいけれど、いつかはこの日が来るのだ。  
これからも『ごちゃっと』をよろしくね。(七) ● 宿願の大阪たこやき行脚に行きます。西のD  
NAが騒ぐぜ!(夜) ● 買い物帰りにレシートを見ると、買った覚えのない商品が印字されて余分に  
お金を取られてた。ゴッソリ20円引きまでされていた。(忍) ● たくさんの中学生が、職場体験やイ  
ンタビューに来てくれました。みんなとお話できるので、毎年楽しみにしています。(生) ● 中学生に  
おすすめ本の紹介を書いてもらって飾ったら、お客さんたちが時々足を止めてじっくり読んでくれます。  
うれしい!(夏)

# ごちゃっと

ティーンズ広報紙 第14号

2011年3月1日発行

発行:名古屋市鶴舞中央図書館

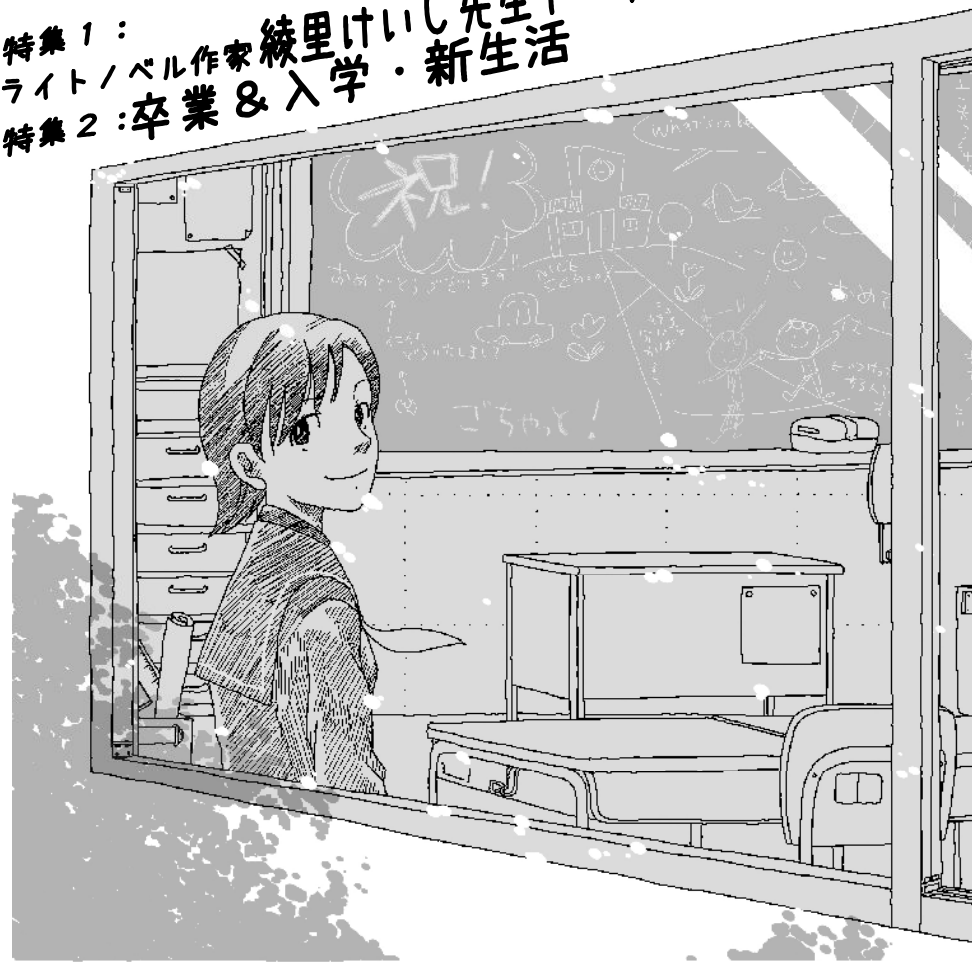
Tel 052-741-9811

Fax 052-733-6337

<http://www.library.city.nagoya.jp/>

~読書でふくらむ子どもの夢~

特集1:  
ライトノベル作家 綾里けいし先生トークショー  
特集2:卒業&入学・新生活



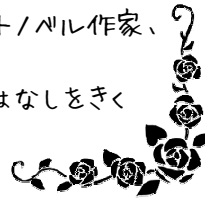
♪この印刷物は古紙パルプをふくむ再生紙を使用しています。♪

ライトノベル作家

あやさと

# 綾里けいし先生 トークショー

1月22日(土)、鶴舞中央図書館で、2010年デビューのライトノベル作家、綾里けいし先生をゲストに招いて、トークショーを開催しました。作家という仕事について、作品についての話など、いろいろおはなしをきくことができました。対談した(弓)が内容をお伝えします!



## 作家になるまで

昨年1月にデビューし、大学卒業とほぼ同時に専業作家となった綾里先生。作家は小さい時からの夢で、なんと小学生の時分から書いていたそう!形になってきたのは中学生のころから。ライトノベルにかぎらず、いろいろな雰囲気の小説を書いていました。

綾「図書館で読みさせなどの活動をしていた親の影響もあって、小さい頃から図書館や本は身近な存在でした。作家になるという夢は家族も賛成して応援してくれていました。反対される人も多い中、とても恵まれた環境だったと思います。」

弓「大学は文学部を?作家になることを考えて?」

綾「作家や小説のためではなく、文学が好きで勉強したかったの。近代文学を学びました。作品にも生かしているといいなと思います。」

弓「作家になるための勉強というか、文章を書く勉強はしたんですか?文章を書くにあたって、どのように学べばいいか、アドバイスはありますか?」



綾「大学の講義でいくつか受けましたが、特に作家になるための勉強をしたというわけではないですね。ハウツー本なども合う合わないがあると思います。インターネットなどに流れている情報も同様だと思いますので、うのみにせず自分を信じた方がいいこともあります。」

## 作品について

ライトノベルはいくつか書いたものの、投稿するレベルになったのは『B. A. D.』がはじめてのこと。自分の好きなものをつめこんでできた作品、とはいえ...

綾「こもって書くタイプなので、人から見てどうなのか悩むこともあります。自分と向き合う作業ですね。書き上げた作品も編集さんのチェックがはいて全部修正することもあります。作家になりたい人は、壊すことに慣れておくといいと思います。自分が書いたものをためらいなく直せるのが、重要だと思います。」

弓「作家になるような人は自分の文章が好きで自信があるでしょうから、それはなかなか大変そう...」

綾「自分が書いたものに自信があるなら、戦うこともあります。でも直すことに慣れておかななくては、後が大変かと思います。デビュー前は書き直してすごく苦労しました。」

自分の文章のクセや欠点なども、自分で何度も確認したり、信頼する姉のアドバイスを受けて、読みやすいよう変えてきました。」



## 作家というシゴト

そのデビュー作が次々と刊行され、多方面に展開。心がけていることなどは?

綾「切厳守です。後の予定がくずれるし、イラストレーターさんや編集さんなど関係者に迷惑がかかりますので、作家として最低限守るようにしています。」

弓「信頼のために」

綾「作家は切を破ってなんぼ、守らないと思われがちですが、そこは守らなくてはと心がけています。この人はこれだけの仕事量をこなせる、とわかってもらうため、今後仕事をももらうためにも重要な点だと思います。」

弓「はたから見るととんとん拍子でできたように見えますけど、ひとつひとつをしっかりとこなせるよう自律しているからこそ、ここまでくることができたということですね。」

1年を終えて今の気持ちは。」

綾「1年で3年分くらい過ぎたような印象です。密度が濃く、一生できないと思っていたような経験もいくつかさせていただきました。よくやってこれたなと。まだ夢のようです。生活にはあまり変化はありませんし、メディアミックスなども、目にして実感はなかなかもっていません。」

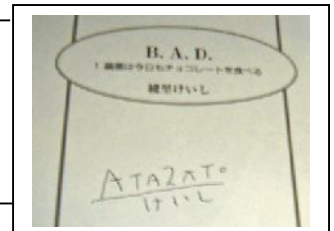
このほか、ここにはとても書ききれないほどたくさんのおはなしをしてくださいました。会場の方からの質問にも回答してもらえました。

ライトノベル作家をめざす人へのメッセージ

「孤独な作業でつらいことも多々ありますが、はじめからおわりまで自分のために時間を使っているという実感をもてる仕事です。今は情報がいろいろあるので積極的に取り入れつつ、悩みすぎずに、自分のいちばんやりたい方向・方法でめざしていってもらえたらと思います。」

綾里けいし

愛知県在住。大学在学中の2010年に第11回エンターブレインえんため大賞小説部門優秀賞を受賞し、作家デビュー。  
著作『B. A. D.』(ファミ通文庫)1~4、短編集  
コミカライズ・CDドラマなどさまざまな方面に展開中。



綾里先生、ありがとうございました!



### 『百鬼夜行の少年 鏡ヶ原遺聞 巻ノ巻』

天堂里砂／著 中央公論新社

子供の頃から、他人には視えない「もの」を視てきた秀一。父の死をきっかけに叔父の住む田舎へと引っ越したが、ひょんなことから寺で住み込みのバイトをすることに。そこにはたくさんの妖怪と、得体の知れない住職がいて——（忍）



### 『ボクたちに殺されるいのち』

小林照幸／著 河出書房新社

まちを歩いていると、野良猫に出会うことがあるね。なぜ野良猫はいるのだろう。ペットはかわいいけれど、年間28万匹の犬や猫が殺処分になっている。身近なペットのことから、人と動物との関係を考えてみよう。（七）



『僕たちは世界を変えることができない。  
But, we wanna build a school in Cambodia.』

葉田甲太／著 小学館

フツ一の大学生の著者が、150万円でカンボジアに小学校が建つことを知り、なんとなくやってみようと思いつく。資金集めのイベントや現地視察を経て、ついに小学校が開校するまでの記録。ぜんぜん熱血じゃないけど、むしろゆるいけど、だからこそ伝わってくる何かがある。（生）



# 新刊

— new arrivals —

# 紹介

### 『みんなのふこう』

若竹七海／著 ポプラ社

ラジオ番組の人気コーナー、「みんなの不幸」。最近の話題の中心はココロちゃん。本人はいたって呑気にしてるけど、いや、それ、ありえないから！（夜）



### 『ヒトラー・ユーゲントの若者たち』

S. C. バートレット／著 あすなろ書房

第二次大戦中のドイツで「ヒトラー・ユーゲント」と呼ばれた少年少女たちは、戦時下で大人顔負けの働きをしていた。「そんなことになるはずがない」と思いながら、どんどん悲惨な方向にすすんでいく普通の若者たち。他方正しさを主張して闘った勇氣ある、無残な死を迎えた若者たち。

正しさを選ぶことが命がけの行動である社会ではないけない、主張できる時に主張して守らなくてはならない。そんなことを考えさせられる本です。（弓）



### 『お気に入りのパッケージをリメイク かわいいエコ\*雑貨』

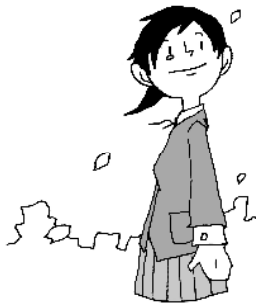
かわいいエコ\*雑貨

平田美咲／著 小学館

チョコの袋がファスナーつきのポーチに、リップクリームケースが針山や、消しゴムハンコに変身！ラーメンのカップ、キャンディーの包み紙、どんな素材だろうが、大胆に縫ったり貼ったりして、自分だけのすてきな小物をつくっちゃおう。（夏）







# 卒業&入学・新生活



3月と4月は、卒業と新生活の季節。出会いと別れの季節だね。期待でワクワクしている人も不安いっぱいの人もあるかな。卒業や別れはさびしいね。でも、『ズッコケ三人組』シリーズの作者の那須正幹さんは、最後の巻で、「ものごとには、はじめがあり、そしておしまいがあがる。永遠につづくと思っている、きみの子ども時代もやがては卒業式をむかえるのだよ」（『ズッコケ三人組の卒業式』ポプラ社）と言っている。おしまいは、なにかなのはじまりだ。本や図書館といっしょに、ガンバロウ！

## ☆☆☆ 学校生活の思い出は… ☆☆☆



### 『夜のピクニック』 恩田陸／著 新潮社

夜を徹して、80キロを歩く伝統行事の「歩行祭」。甲田貴子は、友達と3年間の思い出やこれからの夢を語り合いながら、高校生活最後の「歩行祭」のゴールを目指す。実は、貴子は、3年間誰にも言えなかった秘密を胸に、小さな賭けをしていたのだ。ゴールまでに、クラスメイトの西脇融に声を掛けるという賭けを…。

### 『リボン』 草野たき／著 ポプラ社

卓球部の女子には、卒業式に好きな先輩から制服のリボンをもらう伝統があった。人気があるのは、彼氏がいる先輩。亜樹は、あまり人気のない池橋先輩からリボンを、なぜかもらえなかった…。そこから、波風を立てないように生きてきた亜樹の中で、何かが変わり始めた。そして、亜樹自身の卒業式は？。とまどい、挫折、まよい、失敗、はげまし、やさしい言葉、うれしいできごと。亜樹の中学校生活最後の一年間。



### ☆☆☆ “卒業” というものがたり… ☆☆☆

#### 『卒業。』 豊島ミホほか／著 ジャイブ 『旅立ち。』

あさのあつこほか／著 メディアファクトリー  
学校にさよならする卒業はせつないもの。でも、卒業は、何かのはじまりでもある。人気作家が、“卒業”をテーマに描くいくつもの物語。



## ☆☆☆ 先生からもらったものは… ☆☆☆

### 『あのころ先生がいた。』 伊藤比呂美／著 理論社

小学校にも中学校にも高校にも、先生がいた。いろんな先生がいたよね。好きな先生、嫌いな先生。怖い先生、優しい先生。まじめな先生、ヘンな先生。  
いろんな先生がいるから、いろんなことを教えてくれる。何年何年もたってから、そのことに気づくかもしれないね。



## ☆☆☆ 将来の夢と希望… ☆☆☆



### 『未来への手紙』

『未来の自分に、手紙を書こう。』プロジェクト／編 講談社  
アンジェラ・アキさんの「手紙～拝啓 十五の君へ～」という曲から生まれた本。未来の自分に宛てた100通の手紙。君は未来の自分に、何を聞いてみたい？。この本には、大人や高齢者の方の手紙も載っている。いくつになっても、失敗しても、夢は持つことができるんじゃないかな。

## ☆☆☆ 期待と不安の新生活… ☆☆☆

### 『はじめての日々 泣いちゃいそうだよ《高校生編》』

小林深雪／著 講談社

「わたしは、今日、はじめての扉を開ける。この先には、なにが待っているんだろう。」



湾岸高校に入学した小川凜。高校ではじめてのこと。友情、恋愛、勉強、部活、アルバイト…。人気シリーズ『泣いちゃいそうだよ』の高校生編。



### 『妖怪アパートの幽雅な日常 1』 香月日輪／著 講談社

タ士は、幼いころに両親を亡くしたため、高校入学とともに始めた下宿生活。ところがそこはちょっと変わった住人が暮らすアパートだった。いろんな住人の中で、タ士も変わっていく。こんなアパートがあったら、住んでみたいな～。

## ☆☆☆ 図書館は新生活にも役立つのだ！… ☆☆☆

### 『ひとり暮らしをはじめる本』

成美堂出版編集部／編 成美堂出版

ひとり暮らしを始める人もいるだろうね。この本は、引っ越し、部屋のレイアウト、毎日の食事や洗濯など、はじめてのひとり暮らしのための本。図書館は、いろんなことに役立つところ。新しく何かをはじめるときや困ったことやつらいときにも、役に立つはず。これからも図書館を使ってね！。

